

春休み「海外研修プログラム2」キャンベラプログラム

期間：2週間（2月28日出発予定～3月11日帰国予定）

費用：合計で40万～50万程度（飛行機の予約時期や為替の変動で異なります）

内訳：飛行機代、ホームステイ代（1日2食付）、保険代

パスポート申請料金（持っている人は不要）、ETA申請料A\$20、

上のリストに加え別途、自身のお小遣い、昼燭代、日本の空港までの交通費、

キャンベラで見学する施設の入場料、現地でバス代など等がかかります

募集人数：5名（グローバル共創科学部優先）

* 募集定員を超えて応募があった場合は、TOEICスコアやGPAを考慮し定員を決めます。

* 「海外研修プログラム2」が3年生以上で履修できる科目なので、3年生以上が対象

現地滞在：ホームステイ

部屋はシングルですが、1家族に2人入る可能性もあります

* この場合ホームステイでは日本語禁止ルールを実行してください

取得可能単位：グローバル共創科学部専門科目「海外研修プログラム2」

* 他学部の学生は自由科目枠で取得可能な場合あり（各学部に要確認）

参加条件：

1. 引率教員による渡航前授業（6回程度を予定）に必ず参加できる人
2. 真面目にフィールドワークに参加できる人

引率予定教員：グローバル共創科学部：山本好比古先生

申し込み・問い合わせ：山本好比古（yamamoto.yoshihiko.b@shizuoka.ac.jp）

内容：

1. 本プログラムは現地の語学が学校には通いません。その代わり各自で出発前にテーマを決めて現地でフィールドワークをしながら各自のテーマを調査する新しいタイプの留学です。
2. 現地のキャンベラ大学大学院でTESOL（英語教授法）を専攻している学生の実習の一環で、無料の英語レッスンを受講できるように現在調整中
3. 渡航前に、引率教員による講義（6回程度を予定）があり、講義の内容詳細は後日説明しますが、テーマの決め方、フィールドワークの仕方、調査結果の発表の仕方などをレクチャーします。日本とオーストラリアを比較するようなテーマを選んでもらいます。
4. キャンベラは首都なので、国立系の施設が充実しています。

- A) National museum
- B) National art galley
- C) War Memorial
- D) Mint
- E) Questacon
- F) National library
- G) National Zoo and Aquarium など

5. 上の施設には自身の研究テーマと関係なくても参加者で見学に行く予定ですが、上のリスト以外にも、みんなで見学できる施設を現在検討中。

どんな人にお薦めか？

1. 日常会話を練習したい人
 - A) 滞在はホームステイなので、一旦家に戻れば地元のオーストラリア人と沢山会話できます。
2. 日本とオーストラリアの違いを経験したい人
 - A) 出発前に各自の調査テーマを決めます。例えば「歴史」というテーマを選んだら、日本の歴史の中で戦争（例えば第一次世界大戦＋第2次世界大戦に焦点）に関して渡航前に調査し、キャンベラで国立の戦争記念館を訪れ、オーストラリアから見た戦時中の日本を調査し、日本とオーストラリアの異なる視点を見つけ、自身の視野を広げます
3. キャンベラ大学大学院の TESOL 専攻の学生による英語レッスンを受講予定ですが、時間数が限られていますので、ある程度英語力がある学生向け（TOEIC500 以上・・・）